sanwa company

キッチン収納

●プレーンKカップボード

取付・設置説明書

取付・設置をされる方へのお願い

■取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。

1 安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

⚠注意　⊘禁止　

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。

- ステンレス製ワークトップを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。(切断面に触ると、ケガをする恐れがあります)
- ウォールユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行ってください。(落下してケガをする恐れがあります)

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- 棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。(棚板がはずれ収納物が落下してけがをする恐れがあります)
- 取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。(使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります)
- 取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。(誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります)
- 絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。(落下して、けがの原因となります)

3 設置手順　3-2

■ベースユニット・トールユニットの取付け

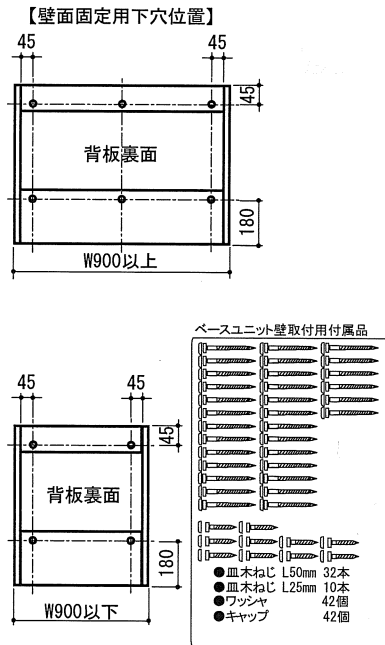
1. ベースユニット・トールユニットの壁取付用下穴加工
   ベースユニット・トールユニットの背板に壁取付用ねじの下穴(φ6)をあけてください。(右図をご参照ください)

【壁面固定用下穴位置】

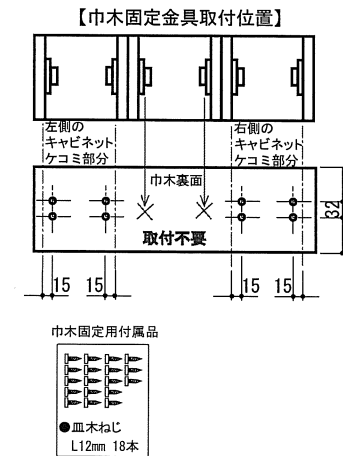
2. ベースユニットの仮設置・ユニット同士の連結
   図面に基づき、ユニットを仮設置し、中央のユニットの両側板の連結用の下穴から付属の連結ねじで固定してください。
   ※水準器等で水平レベルを確認して連結を行ってください。

45　45　45
背板裏面
180
W900以下

ベースユニット壁取付用付属品
●皿木ねじ L50mm 32本
●皿木ねじ L25mm 10本
●ワッシャ 42個
●キャップ 42個

3. ベースユニットの取付け
   【セパレートタイプの場合】
   ベースユニットの水平レベルを確認して、付属の取付ねじで壁面へ固定してください。
   (配線、配管への干渉がないことを確認してから固定してください)
   【トールタイプの場合】
   トールユニット(ベース部)の水平レベルを確認して、付属の取付ねじで壁面へ固定してください。トールユニット(ウォール部)をベース部の上にのせ、付属の取付ねじで壁面と上下のユニットを連結してください。

4. ステンレス巾木の取付け
   ベースキャビネットのケコミ部分の手前に取付ける巾木を仮置きして側板の内側の位置を墨だしします。
   右図を参考に、側板内側の位置を基点にして取付金具の固定位置を墨だしして、巾木固定金具を付属ねじで固定してください。
   (隣接するキャビネットの側板にそれぞれ固定金具が共通仕様で取付いていますが一箇所の固定としてください。)

【巾木固定金具取付位置】

5. サイドパネルの取付け
   サイドパネルを付属のねじで取付けます。
   ※サイドパネルの厚さは12mmです。ねじの長さを確認してください。

- ベースユニットは、必ず壁面にねじで固定してください。
- 取付け時には引出しや扉を取り外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
- 引出しを持つ場合は必ず引出しの側板部分を持ってください。(左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります)

2 施工前の確認

1. 荷物の受取り
   車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
   (製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください)

2. 部材の確認
   荷受した商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3. 施工現場の確認
   設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。
   ・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
   (水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。)
   ・窓枠や建具の位置と寸法
   ・取付木の位置及び寸法(厚さ45mm以上、幅100mm以上の強度のある硬い木材)

   製品の搬入経路の確認を行ってください。

- ウォールユニットを取り付ける取付木(厚さ45mm以上、幅100mm以上)が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。(取付木に充分なネジ保持力がないと、使用中にキャビネットが落下しケガをする恐れがあります)

3 設置手順　3-1

■ウォールユニットの取付け

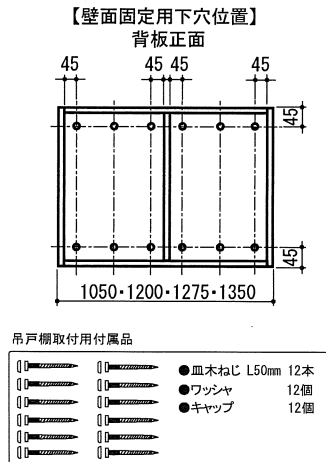
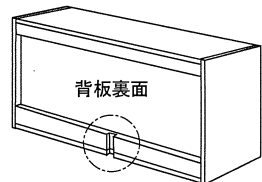
1. 取付用墨出し
   仕上り床面を基準に、ウォールユニットの下端(または上端)の位置に墨出しします。

2. ウォールユニットの壁固定用下穴加工
   ウォールユニットの背板に壁固定用ねじの下穴(φ6)をあけてください。
   (右図をご参照ください)

【壁面固定用下穴位置】
背板正面

3. ウォールユニットの棚下灯の配線用の切欠き加工(棚下灯設置の場合)
   背板の下側芯材と底板を切り欠いてください。(右図をご参照ください)

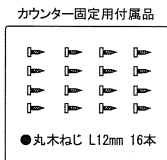
【配線用背板切り欠き加工】

4. ウォールユニットの取付け
   ウォールユニットを取付用の墨に合わせて付属の取付ねじで壁面へ固定してください。

3 設置手順　3-3

■ワークトップの取付け

1. ワークトップの仮設置
   ベースユニットの上にワークトップを仮設置し、ワークトップとベースユニットの左右両側の隙間が均等になるように調節してください。

2. ワークトップの取付け
   ベースユニットに仮設置したワークトップの裏面にワークトップ用の固定ねじを使用してベースユニットの内側のワークトップ固定金具から固定をします。

- ステンレスワークトップの端部でケガをしないように注意してください。
- ステンレスワークトップを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。
  (スリムエプロンのワークトップは奥行方向を平らにして両端を持つと変形の原因となります)

4 施工後の調整・確認

■施工後の調整

1. 扉・引出しの調整
   施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。
   調整が必要な場合は取扱説明書の丁番・レール・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

■施工後の確認

1. 施工後のクリーニング
   ユニットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

2. 水廻りの取付状況の再確認
   水栓金具、排水金具が確実に取付されていることを確認してください。

3. 機器類の試運転
   機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。

キッチン収納

●プレーンKカップボード

取扱説明書

●安全上のご注意について

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

⚠注意　　🚫禁止　　❗実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

扉が傾いたり、がたついた時は蝶番のネジを締め直してください。（破損やケガをする恐れがあります。）

扉やハンドルにぶら下がったり、大きく開けすぎたりしないでください。（破損やケガをする恐れがあります。）

扉開閉時に蝶番にさわらないでください。（蝶番に指を挟んでケガをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。）

棚板や、引出しに規定重量以上の物を入れないでください。　製品の歪み・破損・落下の原因となります。
耐荷重については下記の重量をお守りください。

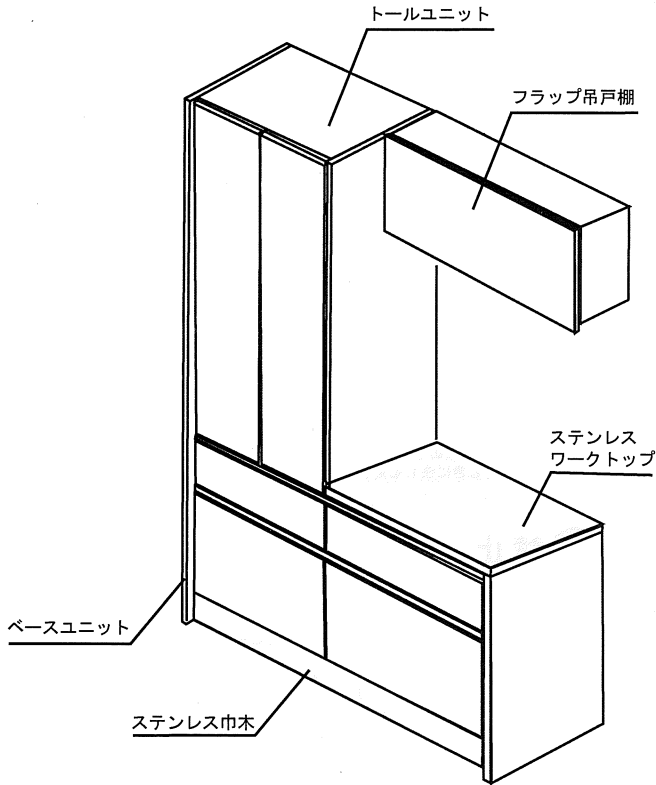
棚板（底板）1枚につき　　8kgまで
引出し一箇所につき　　12kgまで
キャビネットひとつにつき　最大45kgまで

改造しないでください。（思わぬ事故の原因になることがあります。）

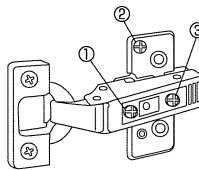
オーブントースターなど、キャビネット内部で電気製品のご使用はおやめください。（製品の故障や火災の原因になります。）

扉の開閉時手足をぶつけないでください。（指を挟んでケガをする恐れがあります。）

1 製品の名称

◎プレーンKカップボード　※図は１８００サイズ（トール＋セパレート）

2 各部の調整①

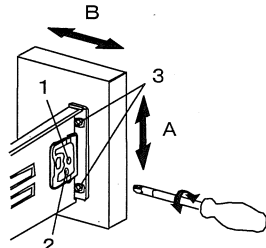
●蝶番の調整

扉は調整した状態で出荷しています。使用しているうちに微調整が必要な場合は①②③のねじを回し、調整してください。
調整後は②③のねじを締めます。

①左右調整用
②上下調整用
③前後調整用

◎左右調整の場合
…①のネジを回す。
◎前後調整の場合
…③のネジを回す。
◎上下調整の場合
…②のネジを緩めて調整。
◎ガタツキの調整の場合
…②③のネジを締める。

●引出しレールの調整

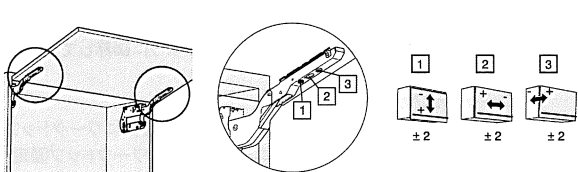
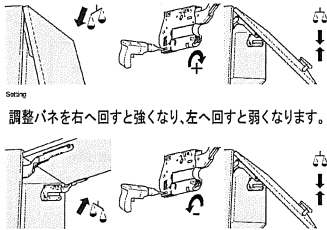
A:高さ調整（±1.5㎜）
ネジ1をゆるめて偏芯ネジ2で高さ調整をします。
調整後はネジ1をしめて固定します。

B:左右調整（±1.5㎜）
ネジ3をゆるめて前板を左右調整します。
調整後はネジ3を締めて固定します。

2 各部の調整②

●ウォールキャビネットフラップ金具の調整

バネの調整　扉を約90°開いて自然と上がったり、下がったりする場合はドライバーでバネの力を調整してください。

調整バネを右へ回すと強くなり、左へ回すと弱くなります。

扉の調整　扉の上下・左右前後の調整ができます。

3 お手入れ方法

■ワークトップのお手入れ方法

布またはスポンジに台所中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとってください。普段からかたづけが済んだら、乾いた布で水滴をきれいにふきとってください。ひどい汚れや落ちにくい汚れは台所用液体クレンザー（ジフ等）をつけて磨いてください。

● 金属たわしや粒子の粗い粉末クレンザー類を使用しないでください。（キズがつく恐れがあります。）
● 熱したフライパン・なべ・火のついた煙草などの熱いものをワークトップに直接置かないでください。（変色・変形の原因となります。）
● 鍋など硬く重いものをワークトップに落としたり、引きずったりしないでください。（キズ、割れ、へこみがつく恐れがあります。）
● 包丁やナイフなどの刃物を、直接ワークトップ上で使用しないでください。（キズがつく恐れがあります。）
● 酸性やアルカリ性の薬品をかけたり流したりしないでください。ワークトップをいためる原因になります。（漂白剤、塩酸、硝酸、タイル洗浄剤、排水ぬめり取りなど）
● ぬれたままの包丁・缶詰などの金属製品を長時間のせたままにしないでください。（サビが移る『もらいサビ』がでる恐れがあります。）

● 油・煮こぼれ・調味料の汚れはすぐに水拭きしてください。そのままにするとサビ・変色の原因になります。

■キャビネット・扉のお手入れ方法

汚れている場合は布またはスポンジに薄めた中性洗剤をつけて汚れを落としてください。次に水を含んだ布で洗剤をふきとり、乾いた布で空拭きしてください。隅にたまったゴミはブラシで取り除いてください。油・調味料・食品の汚れを放置しているとサビやカビの原因になりますので早めにお手入れしてください。

● 扉やキャビネットが汚れた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
● 扉やキャビネットに水などが付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取ってください。
（キャビネットや扉をいためる恐れがあります）

● 扉やキャビネットに付着した油汚れ等を取り除く際は、強くこすらないでください。
（キズがついたり、光沢が変化する恐れがあります）

4 アフターサービス

1. 保証について

下記保証書をご提示ください。故障した場合記載内容により無料修理いたします。

カップボード保証書		
品　番	製品本体に貼ってあるシールをご確認ください。	当社製品はお買上げ日から2年間無料修理いたします。 但し離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けます。 保証は日本国内において有効です。 保証期間中でも以下の場合は有料修理となります。 ●取扱説明書および注意ラベルによらずご使用になり、故障及び損傷した場合。 ●取付・設置時の不注意または過失による故障及び損傷。 ●引渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障や損傷。 ●不当な修理や改造による故障及び損傷。 ●火災、天災、地変、その他の不可効力による故障や損傷。 ●建築躯体の強度不足、歪み、劣化、その他本体製品以外の不具合による故障や損傷。 ●電気製品など個々の機器に保証書のあるものは、各機器の保証書に従ってください。 （修理ご連絡先）　株式会社サンワカンパニー TEL 0120-468-838　FAX 0120-382-096
保証期間	対象：カップボード本体 期間：お買上げ日から弐カ年	
お買上げ日	年　月　日	
お客様	お名前 ご住所 電　話　（　　）	
工事店	店　名 電　話　（　　）	

※お客様でご記入をお願いいたします。（サービスを依頼される際にお役に立ちます）

2. 廃棄処分について

廃棄の処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

プレーンKカップボードのホルムアルデヒド発散区分

1	製造企業名	株式会社サンワカンパニー
2	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ、下地部分共にF☆☆☆☆
3	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による
4	製造番号及び年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。
5	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	パーティクルボード　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆

●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.
●大阪ショールーム　〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋2-3-21-3F　TEL 06-6229-1034
●東京ショールーム　〒107-0062 東京都港区南青山4-18-16-B1　TEL 03-5775-4763
●名古屋ショールーム　〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-8-1F　TEL 052-935-2217

TSSA-09062